

第 2 3 回原子力委員会 資料第 3 - 2 号

原子力委員会の事務体制についての当面の方針（案）

原子力委員会の現在の事務体制において、委員会事務に関して専門知識を有する外部組織の者に対し、その所属している組織が審議事項に利害関係を有するという理由のみで出向者として受け入れることを完全に否定することは、原子力委員会が行うべき活動を著しく停滞させる。このため、原子力委員会の公正な運営に疑念を招くことがないように、出向者の業務範囲を見直すとともに、出向者の行動規範を、それに違反した場合の取扱いを含めて明確に定め、その遵守の誓約を求める制度を速やかに整備する必要があると考えているところであるが、その検討を待つことなく、当面、以下の措置を講じるものとする。

- ① 出向者に対して、出向元のための活動を行ってはならないことを再確認する。
- ② 会議資料の作成・準備にあたっては、「原子力委員会の調査審議に必要な会議資料を作成・準備する際の情報管理について（暫定版）」に則るものとする。
- ③ 現時点における電力会社からの出向については、6 月中に解消するものとする。
- ④ ③に伴って職員の補充が必要な場合は、公募等による採用を検討するものとする。